

安来市議会「やすぎ未来トーク」報告書

開催日時：令和 3 年 2 月 21 日 (日) 9 : 30 ~ 11 : 30

開催場所：安来市役所 4 階 議場

報告書作成者：三島 静夫 提出年月日：2 月 25 日

1. 出席者等の状況

申込者の状況		参加者数		
団体等の名称	代表者氏名	男	女	計
島田わんぱくクラブ	加藤 喬	20人 (内子ども 6人)	30人 (内子ども 12人)	50人 (内子ども 18人)

派遣議員の状況			
文教福祉委員会及び申込団体の希望により派遣議員を決定			
派遣議員氏名			
三島静夫	原瀬清正	原田貴与子	
佐々木厚子	岩崎 勉	福井加代子	

2. 主な質問・意見等 (要点を箇条書きで。)

- ・児童さん方には、庁舎4階の議場をはじめとしたほぼすべての部屋の見学をして頂き、派遣議員の各会派室において議員との挨拶を行った。
- ・議会体験では、児童が議員となり、派遣議員が執行部役となり、事前に頂いた質問に対しての質疑応答を行った。(別紙参照)
- ・派遣議員は質問の答弁に際し、各関連部署への調査を行い、小学校1年生にも理解できる内容となるように工夫をし答弁を行った。
- ・議場での児童は大変緊張をしており、特に質問席ではことさら緊張をしておられた。非常に微笑ましい児童を拝見できた。
- ・事前打ち合わせにない休憩を途中でとった。その際、緊張から解放された児童の行動は非常に子供らしく、普段の議場では見られないものであった。特に議長席とコントロール席は児童の人気の的であった。
- ・保護者、関係者の方々にも大変良い評価を頂いた。

以上。



R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

Q：今、干拓地は利用しているところが少なくハウスも使っていないままになっているところもあります。干拓地の今後の活用方法はなっていますか？

A：岩崎 勉議員

島田の干拓地は平成元年に造成をされて、広さが128ヘクタール、島田小学校と交流センターや幼稚園がある、あの一角の大体32個分ぐらいの広さがあります。いただいた質問のように、雑草が生い茂っていたり、ビニールハウスもあるけれども、その中でも、やっぱり雑草だらけになっていたりする畑が目立ちます。

一方で、大手のスーパーがキャベツやブロッコリーを作っていますし、いちごも作っています。大きなハウスでトマトを作っている会社もあります。農家の人たちも、ニンニクなどの野菜やブドウなどの果物もたくさん作っておられます。安来市としては、今のところ、これからの詳しい利用の仕方については示していませんが、それぞれの農家の皆さんの判断にお任せをしているところです。

私としては、キャベツならキャベツだけ。ブロッコリーならブロッコリーだけを広い畑で作ったり、ミカンやイチゴやブドウやトマト狩りなどの観光農園をどんどんふやして栗とか柿とか、梨の観光農園も作って、皆さんのような小学校の子供たちや、家族みんなで楽しめる干拓地になったら良いなあと考えています。

Q：米子に買い物に行ったり、県境の事故も多いので中海架橋を早く作ってほしいです。いつできますか？

門生から小学校まで歩いて登校するのに、橋があったら大回りせずに早くいけるから、どうやったら橋を作ってもらえますか？

A：岩崎 勉議員

昭和60年代の初め、なので、皆さんがまだ生まれていない頃、米子と安来のお兄さんやお姉さんたちが、中海に橋がかかったらいいだろうなあと、始めたことがきっかけでした。

昔から、米子と安来は人の行き来が盛んで、今でも日立金属安来工場へは、米子や淀江の方から通っている人たちも多いですし、安来の皆さんも米子のお店に行かれることが多いと思います。

いただいた質問にもあるように、米子と安来の県境あたりの国道9号線では、交通事故も多く発生しています。安来市としましても、中海に橋をかけることは、これからの中海周辺のまちがにぎやかになったり、安来市のものづくりや観光に良いことがたくさんあると考えています。私たちも、米子市の市議会議員の皆さんと、橋をかけるように、鳥取県や島根県の知事へお願いに行ったり、まちの中で、市民の皆さんに宣伝をして歩いているところです。

今は残念ですが、中海に橋をかけることについて、鳥取県と島根県の知事の話し合いもできていませんし、二つの県を跨ぐ大きな事業なので、国の力も借りなくては、なかなかできることではありません。けれども、橋をかける場所は、須崎の八尋鼻というところから、米子へ向けてかけるということで、大体決まっています。それに向けて、この安来では、皆さんも見ることがあると思いますが、国道9号線の大谷坂を島田から安来の方に向かって登っていくと、左側の山の中で橋をかけたり、トンネルを掘ったりして、中海架橋の周りの道路を、今整備をしているところです。

いつになったら、中海架橋ができるのかとの質問に何年何月になったらかかりますと、今は回答できませんが、少しでも早く、中海に橋がかかるように、これからもいろんなところで発

R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

言をしたり、行動を起こしていきたいと考えています。

それと、門生から小学校まで橋をかけてもらいたいなという質問ですけれども、道路と違って、橋かけるということは大変なお金がかかります。市民の皆さんからお預かりをしている税金を使って橋をかけるわけですが、一部の人たちのためにだけ税金を使うことはなかなかできません。

なので、どうしても自分たちにとって必要な橋をかけたいなと思うんだったら、自分たち以外の人たちにも、「そうだよね。やっぱりここに橋がかかっていたら、みんなが喜ぶよね。」と思ってもらえるように、友達をどんどんふやしてください。自分の幸せを考えることも大切ですが、より多くの人たちが喜んだり、楽しんだりしてくれるのを考えることも大切なことだと思います。これからも、奥井議員の思いが願う橋がかかるように頑張ってください。

Q：中海ふれあい公園を活用しやすくするために、皆生にあるような自転車ロードを作って欲しいです。

A：原瀬 清正議員

中海ふれあい公園を活用しやすくするために、皆生にあるような、自転車ロードを作って欲しいということですが、今、中海一周コースとして、その地図は作られていて、道路の所々にそのマークが書いてありますが、安来市内には、弓ヶ浜や皆生にあるような自転車の専用の道路は、残念ながら作る計画は今のところありません。

ただ、コロナで、3密を避けて運動ができるということから、サイクリングをする人が増えてきているのと、コロナが収まって、また安来に観光旅行する人が増えてきて、サイクリングしながら観光もできるようになると、自転車ロードも計画されるかもしれません。

Q：議員さんは、議会でどんなことを話し合っていますか。何人いますか。

A：佐々木 厚子議員

今、何人いますかというところから先に言いますと、今20人で議会活動をしています。

今年の10月には安来市議会議員選挙があって、そこでは18人の議員がまた選ばれることになっています。

議員は議会でどんなことを話し合っていますか、の質問ですが、例えば、みんなは生活の中で、水道の水を使ったり、道路を通して学校へ行ったり、公園で遊んだり、図書館に行って本を読んだりしていますよね。この水道、道路、学校、公園、図書館などを作ったり、管理をしたりするのは、安来市の仕事で、とても大切なことです。このような大切なことは、市民みんなで話し合って、作り方や使い方を決められたらいいのですが、それは人数が多すぎて、なかなか決められないですよ。そこで、選挙をして、市民の代表を選びます。その選ばれた人が議員です。

その議員は、市議会の中で、市民の皆さんの代表として、学校や道路の作り方や使い方、またみんなで守らないといけないルール、このルールを条例といいます。それを決めたり、これから何にお金を使えばいいのか、これは予算といいます。その予算もみんなで話し合って決めています。

間もなく始まります3月議会は、この予算を3つの委員会の中で、担当の議員が一生懸命審査をします。そして、この安来市の予算を承認するというのが、この3月の議会になります。

それから、そのお金が1年間、ちゃんと予算どおりに使われたかどうかというチェックをし

R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

ます。これは決算といって、9月の議会のときに行います。これも3つの委員会に分かれて、どのように使われたか、議員が一生懸命審査をして決算を承認します。これが議員の主な仕事で、こういう話し合いを1年間かけてやっています。

その他、通年議会といって1年間通して議会ができますので、みんなで問題点を常に話し合いをしながら、1年間を通して議員の活動をしています。

Q：山陰新幹線ができると人がたくさん来るし、観光客も増えると思います。山陰新幹線はいつできますか？

A：三島 静夫議員

（資料にて説明）安来を通る新幹線は、川口議員が言われました、山陰新幹線、赤い点々のですね、新大阪から下関まで行く新幹線と、中国横断新幹線、岡山から松江までですね、この二つの新幹線路が計画されております。この二つの新幹線は、1973年に「作るべき鉄道である」と国が計画をしましたが、50年近くたった今も、そこから話が進んでおりません。

新幹線が通ると、人がたくさん来ることにもなるし、まちのにぎわいも増えることになることは確かですが、3兆円以上の新幹線の鉄道を作るためのお金の一部を、地元が払ったり、今ある線路を地元が世話をしないといけなくなったりして、安来市にもっともお金がかかることになります。

今、私たち議員を含め、県、国の議員さんや、京都、大阪、兵庫、岡山、鳥取、島根、山口県の知事さんや、52の市町村長さんたちが、国に対して、地元に迷惑がかからないようにして、新幹線を作ってくださいと一生懸命頼んでいます。いつできるかは残念ながらわかりません。これからは、私たち一生懸命、国に頼んでいきたいと思っています。

Q：中海ふれあい公園を作ってくれて嬉しいです。他に今後私たちのための施設の計画はありますか？

A：原瀬 清正議員

公園ができてもらって、私たちもとても嬉しいです。

中海ふれあい公園のほかに、これから子供たちのための施設の計画はありますかということですが、中海ふれあい公園は、もう少しで全部が完成します。公園は、約8億5000万円かけて作られていて、たくさんのお金がいります。

今は、ほかに計画はありませんが、遊びに来た人が車を停める駐車場と、公園にするための大きな場所、それから作るためのお金と、作った時にそこで遊んでくれるたくさんの子供の皆さんがいてくれるようだと、また計画を考えるかもしれません。

Q：水泳の選手になりたいのでスイミングのプールを広くして、コースを増やして練習がたくさんできるようにしてほしいです。

A：原瀬 清正議員

広くするための場所や建て直すためのお金等、広くしたらその分使う水も今よりたくさんいるようになるので、今よりもプールを使ってくれる人がたくさんになると大きくできるかどうかを、考えてもらえるかもしれません。

今、人がたくさんで泳ぎにくい感じですか。もしそうだとすると、人数の少ないグループに分けてもらったり、時間をずらしてもらったり、早く泳げるようになる練習方法とかも、今教

R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

えてもらってる先生、コーチにも相談してみると、どうでしょうか。

今はスイミングプールで一番速く泳げるように頑張って、将来、水泳選手といえば、安来のト蔵選手。と、みんなから言われるように頑張ってください。

Q：議員さんはどんな仕事をするんですか。仕事をしていて一番大変なことは何ですか。

A：原田 貴与子議員

議員は、4年に一度ある選挙で選ばれて、市民の皆さんの代表として、市議会議員の仕事をしています。

市議会は、1年に、3月、6月、9月、12月に会議をします。そのほかに、災害やコロナ対策のように、緊急に、決めるための会議もあります。

議員は、市議会の会議に出席をします。会議では、市長が、安来市はこうしますというルールや、お金の使い方について、いいかどうかを議員に聞きます。議員は意見を出し合って、最後には賛成、反対の意見を述べます。安来市の仕事をチェックするのが、議員の仕事です。

また、市民の困りごとや願いを市に届けるのが、議員の仕事です。今日皆さんにいただいています。そのために、普段から市民の皆さんの、生活や仕事、身の回りのことを聞いておきます。議会が開かれた時に、一般質問と言って、市民の声を議員がまとめて述べる機会があります。そのときに、市長に話し、こうしてくださいなどの意見を言うと、市長さんや市の職員さんから、答えを聞くことができ、意見が取り入れられることもあります。

議員の仕事で大変なことについて、お答えいたします。日頃からテレビをみたり、新聞を読んだりして、大きく言えば世界や日本、そして地域や、自分のことの情報、また市民の皆さんの生活をいろいろ調べて、将来のことを考えて、どうすればいいかという判断をすることは、議員の仕事として、大変なことだと思います。

Q：高校は最悪の事を考えられオンライン授業の準備を進められましたが、小中学校はオンライン授業は考えておられますか？

A：三島 静夫議員

安来市では、去年の新型コロナウイルスによる学校休校の時から、小中学校でオンラインの授業ができるかどうかの実験と練習を行ってきました。調査の結果、Wi-Fiもほとんどすべてのおうちにあるとのことで、それぞれの学校での準備もできておりますので、いつでもオンライン授業ができます。あとは、皆さんが、タブレットを上手に使えるように、しっかり授業で練習してください。

Q：今後、安来節保存会がどうなっていくか、お考えを聞きたいです。

A：福井 加代子議員

安来節が大好きだから、そんなふうに思うのでしょうかね。あなた方が不安に思うように、確かに安来節保存会の人数はだんだん減ってきています。特に若い方が少ないです。でも、安来節は安来市の大切な財産ですから、安来市も守っていかなければいけません。

そこをお願いですが、ぜひ安来節をしてください。そうすれば、安来節保存会も、どんどん大きくなります。私たちもいろいろな場で安来節を宣伝したり、広げていきたいと思っていますので、安心してください。

R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

Q：観光地やすごいものが安来にもたくさんあるのに、境港みたいに全国ニュースとかでとりあげられないし、たくさん人が来ないのはなぜですか？

A：三島 静夫議員

確かに境港市は全国ニュースに出てくることが多いですね。境港市はゲゲゲの鬼太郎の作者水木しげるさんの生まれたところですよ。年齢に関係なく、全国にたくさん鬼太郎ファンがいるため、ニュースで取り上げられやすいのだと思います。

一方、安来市も、皆さんもよく知っている清水寺や、足立美術館、さぎの湯温泉や月山富田城などの観光地のほかに、安来節やドジョウの養殖、鋼の生産といった全国でもトップレベルの産業や文化など、自慢できるすごいものがたくさんあります。

新しいものには、広瀬町上山佐にある天馬山（てんばやま）の直径約6メートルの割れ石が、皆さんが大好きなアニメ鬼滅の刃のワンシーンの景色にそっくりだと話題になり、テレビ番組のコーナーで紹介されたり、雑誌に載ったりしています。

そのおかげで、最近では、県外からも多くの方が割れ石を見に来るようになりました。実は安来市にもたくさんの観光客が来てくれています。今は新型コロナウイルスのせいで旅行する人が減っていますが、コロナがひどくなる前の令和元年度の1年間に、安来市を訪れた観光客は144万人、その前の平成30年度は150万8000人でした。安来市の人口が3万8000人ですから、1年間に人口の約40倍近くの方が来ていると聞くと驚きませんか。

紹介した場所のほかにも、自慢できる場所やものが、安来市にはまだまだたくさんあります。その魅力を全国の人に伝え、そして来てもらえるようにPRするのも、市役所の役割の一つです。もっと全国のニュースや雑誌で注目されるように頑張りますので、皆さんも、安来市の観光地や伝統文化に、興味を持って好きになってくださったら嬉しいです。

そのきっかけにしてみたいものを一つ紹介いたします。安来市生まれで、今は県外の大学に通うお姉さんが、安来を離れてみて、改めて感じた、安来の魅力をたくさんの人に伝えたいという思いから、安来発見AtoZという冊子を自分で作り、100冊を市役所に寄付してくれました。安来市の自然や伝統工芸、観光施設などを、Aで始まりZで終わるアルファベットを使い、26のキーワードで紹介しています。ぜひ読んでみてください。

Q：社日公園は校区が違うので遊びに行けないし、放課後集まって遊べる場所がないので、飯島町に遊具がある公園が欲しいです。

A：原田 貴与子議員

公園のお話の前に、十神小学校の校庭も遊べることは知ってますよね。校庭も使っていていいということ、まずはお伝えしておきます。

さて、公園についてです。今、安来市では、都市計画というまちの計画の中で公園を作っています。公園の数は、これだけはつくりましょうという決まりを安来市は守っています。

それから、新しく住宅地などを作るときのことを、開発といいますけれども、その時には開発した面積の3%は、緑地といって、公園を作ることになっています。

十神小学校区の公園は、横屋緑地公園、緑が丘緑地、飯島団地緑地、東飯島緑地、飯島工業団地緑地公園があります。皆さんにとって行きやすい公園ですか？遊べますか？私も行ってみましたけれども、何もない空き地だったり、芝生だったりしたところもありました。子供さんが遊べるかどうかは、皆さんのご意見を聞いてみたいところです。

さて、公園に遊具が欲しいという質問でしたので、消防署の近くの広い公園、飯島工業団地

R3.2.21「体験！わんぱく議会」質問と答弁内容

緑地公園の遊具についてお答えしてみたいと思います。安来市は、あの公園にドクターヘリが着地するのに利用しています。もしも遊具を置くならば、安全な場所に置くことになります。公園の遊具は、子供たちが安全に使えるように、市の土木建設課というところで管理、点検をしています。公園を増やすことは、市の予算の範囲内で作っていますので、都市計画などの決まりを守りながら作ると、これだけだということです。

子供たちだけで歩いて行ける場所に遊具がある公園が欲しいという気持ちをよく話してくれましたね。大人として思いをしっかり受けとめました。外で楽しく遊びたいという声は、校長先生や保護者さんも、私たちもうれしい限りです。公園とか遊具をもっとふやすべきか、それとも今のままでいいかについて、またもしふやすとしたら、場所や、誰が作るかなどを、大人同士も話し合って知恵を出し合って考えて解決していくことになります。

Q：なんで防災棟にかまどのベンチができたんですか？

A：福井 加代子議員

普段は市民広場として、みんなの遊び場になっていますが、大火事や地震などの時、安来の町の中の人々の避難場所となります。約1000人の方を受入れることができますよ。

山根議員の質問のように、今はベンチだけど、大きな災害のときは、かまどになり、炊き出し用でご飯を炊いたり、ご馳走を作ったりできるようになっています。マンホールもあり、防災トイレに早変わりします。

それから、普段は休憩所として使っているところは、テントを取り付けて、炊き出しの調理場となったり、支援物資を皆さんに配る場所として使用されます。

Q：自分たちがこうして欲しいという要望を安来市に聞いてもらうためには、どうやったら良いか方法を教えてください。

A：三島 静夫議員

皆さん一人一人、安来をこんな町にしたらいいなと、いろいろなアイデアをたくさん持っていることと思います。思ったものが全部できるといいのですが、残念なことに、ただではできないので、お金も要ります。だから早くしないといけないことなどから順番になります。

例えば、みんながたくさんの友達と集まって、何があったら、たくさんの人が喜んでくれて、早くしないといけないものなのかを話し合いをしたとします。みんなが考えたアイデアが全部バラバラだと、何を最初にやらないといけないのか、順番をつけるのが難しくなりますね。だから、みんな考えて、あったらいいなと思う人がたくさんいることから、賛成してくれる人をもっとたくさんにして、安来市にお願いをしたりすると、願いがかなう方向に、近づくと思います。

今日の中海架橋や、遊具のある公園も、たくさんの人にあったらいいなと思ってもらうように話をしたり、同じ思いになってもらい、安来市にお願いすることが大切になります。ですから、みんなもこれから先、今日みたいに思ったり考えたりしたことをちゃんと声を出して、いうことが大事ですし、話し合うことを大切にしてください。